

第三号

関上復興だより

もう一度心をひとつに

発行日 2012年2月1日(水)
発行人 関上復興だより実行委員会
編集長/格井直光
☎090-3583-1359

関上復興まちづくり推進協議会

本紙は前号で、「関上復興まちづくり推進協議会」の第1回、第2回をお伝えしたが、今号では同協議会の第3回(平成23年12月26日)、第4回(平成24年1月11日)、第5回(平成24年1月18日)、第6回(平成24年1月25日)をお伝えする。なお、紙面に限りがあるので、多くの住民にかかわる内容、本紙が重要と考えられる内容を抜粋して掲載する。

第3回

「主な議題」土地利用についての意見交換

多くの関上住民に関わることで、災害公営住宅の建設場所やその形体、所有地の減歩率の程度などの意見や質問があった。真山堀のすぐ西側に耐浪型の集合住宅が建設される予定だが、それ以外については決まっておらず、これからの議論や要望を踏まえながら検討していくこととなる。減歩率は、道路の幅などによって異なることから、現時点では未定である。

土地区画整理事業の対象エリアは3メートルの嵩上げをする案があるが、事業エリア外に住む住民からは、事業エリアより低い場所に住む不安が委員に伝えられている。学校の位置を重視する意見もあった。
①「商業」から考える関上のまちづくりの主な意見(名取市まとめ)
関上に人を集めるために早期の朝市

復興が必要

・朝市と連携してゆりあげビーチを来年度から再開したい
・商店街は2箇所必要と考える
・集合住宅の一階に商店を入れるのではなく、商店街として集積させたい
・生協のようなスーパーマーケットも必要
他3意見

②「住まい」から考える関上のまちづくり(名取市まとめ)
・墓地は基本的に現位置再建とし、現在生活を始めている地区も土地区画整理事業に含めていきたい
・集合住宅は名取川沿いに配置してはどうか

・まちの景観のため、無電線化したい
・住宅地の道路は自動車がスピードを出せない作り方をしたい
③「海と共生した産業」から考える関上のまちづくり(時間がなく議論なし)

第4回

冒頭に名取市震災復興部の部長の交代が発表された。

「主な議題」土地利用についての意見交換

震災復興部より、名取市が作成した集合住宅や学校、公園や商業施設が配置された町のイメージ図が示された。「町並み形成ゾーン」(まちの面影再生エリア)という旧バス通りを再現するエリアにつき、委員から「新しい町づくりをゼロからするのだから、あの不便な商店街を再現する必要はない」という意見が出た。イメージ図を叩き台とした意見交換が行われたが、「イメージ図に縛られ、自由な発想が出来ない」という意見が出て、白地図上に自由な意見を出すワークショップ形式での意見交換が要望された。

公共施設に関する意見交換では、学校の位置や公園などについて活発に意見が出た。小学生の子どもをもつ保護者の多くは、学校の再建についての要望を伝えたいと考えているが、提案内容によって窓口が様々で、どこに行けば良いのか分からず、困っているという声があがった。「地域における学校の果たす役割は大きく、小学生の子どもをもつ母親の意見もバランス良く聞くことができる会議にすべきだ」という意見も出た。15名の委員のうち、小学生の子どもを持つ保護者は2名で、いずれも男性である。この構成ではバランスを欠いているという理由で、委員の増員が提案され採決が要求されたが、事務局で協議が必要とのことで次回に持ち越された。

①土地利用についての主な意見(名取市まとめ)
・今までの古い街並みにこだわらず、これからの街にあったものにする方がよい
・まちの景観や眺望が大事
・漁業だけでなく、新たな交流産業などを考えていく必要がある
・墓地は現位置での再建、地区南側への移動
他1意見

他1意見

②公共施設についての主な意見(名取市まとめ)
・地区の西側に学校を建設して欲しい
・地区中心に大きな公園があるのではなく、宅地の間を歩いて行けるような公園がよいのではないかと
・道路でもどこでも、子どもたちがまわりの中で遊べる空間を整備していく必要がある

③その他の主な意見(名取市まとめ)
・白地図の中に考えを書き込みたい
・関連する市役所の部署にもオブザーバーとして参加して欲しい
・意向調査を早期に実施して欲しい
・委員の中に子育て世代の女性を入れて議論していきたい

第5回

第4回の協議会で要望のあった「子育て世代を委員として追加する」議案について、震災復興部より説明があった。しかし、説明が不十分で、傍聴席から事務局に再度説明を求める場面もあった。結論は多数決に委ねられ、出席した委員13名(2名欠席)のうち、4名が賛成、反対多数により却下となった。

前回要望された白地図を使ったワークショップが開催された。13名の委員が2グループに分かれ、「新しい関上の町」のイメージを話し合い、発表を行った。

2グループから出た主な意見としては、観光産業にも力を入れるため、水族館をつくる
・真山堀を活用するため、真山堀沿いに屋台を並べる
・医療機関をまとめ、医療センターモールを作る
・子どもとお年寄りが交流できる場をつくる

・学校は町の西側に配置し、近くに若い世代が住める公営住宅をつくる
・災害公営住宅は現代風のマンション

のような造りにし、地域外の人が住みたいと思うようなものにするなどの意見が出た。住民への意向調査が昨年9月に実施されたが、何度も行うべきと委員から要望があり、2回目の実施が決まった。意向調査のたたき台が示されたが、不足部分もあるため、委員が持ち帰り追加の要望を伝える。

意向調査の対象となるのは、地権者と2011年3月11日時点で被災エリアに住んでいた世帯(それぞれ世帯主のみ)となる予定。1月末頃に各世帯に届けられる。

第6回

①第2回関上地区意向調査について
第2回関上地区意向調査を1月末に行うことが決定した。対象者は関上地区の地権者、昨年3月11日時点で関上地区の被災エリアに居住していた世帯主。全体的な意向調査は今回が最後となり、以後は個別の意向確認などを行う。

②土地利用/公共施設についてのとりまとめ
「集合住宅」災害公営集合住宅(4階建て程度のマンションを想定)が真山堀西側と名取川沿いに配置されることが口頭確認により決定した。
(お寺・神社の場所)
お寺・神社の場所は震災前の場所とすることが口頭確認により決定した。
(公共施設(公民館・学校など)の位置)

まちのイメージ



平成23年11月28日「関上復興100人会議」で発表された関上のまちの再生イメージ

置) 公共施設は区画の中央の東西に延ばす格好で配置する方針に固まった。小学校・中学校の位置は事業区域の西側にするのが多数決(賛成13/反対2)により決定した。学校の位置については、PTA役員等、最も学校に関係のある委員が不在のまま議論が進んでいるので、今後、学校の位置を話し合う会を設け、PTA役員や教育委員会の出席を依頼する予定。
(商店街) 商店街は2か所に分散する方向で考えがまとまり、「おもかげ再生エリア」はつくりたくないこととなった。
次回の第7回目となる「関上復興まちづくり推進協議会」は意向調査の集計が終わる2月15日(水)19時から、名取市震災復興部会議室(法務局2階)で行われる。傍聴は先着15名で、18時30分から受付を開始。



# 関上出身議員に聞く！

1月22日に投票が行われた名取市市議会選挙で関上地区から、2名の議員が選出された。関上の復興、名取市の発展を担う両議員にインタビュー形式で質問した。

佐藤まさひろ (60)



〔当選要因〕

地元町内会や他地区への復興の訴えが浸透したと思います。

〔名取市復興について〕

関上の復興が第一と考えています。早期に着工することで前向きになれると考えています。

〔まちづくり〕

関上のまちは、貞山堀西側から造られますが、学校も西側へ安全性を示して配置することを考えています。自然エネルギーの活用、加工団地の早期着工、住民の意見収集等に力を注ぎたいです。民間借り上げ入居者の方々は復興情報を聞く場所が今のところありません。集まりがあれば、積極的に参加したいので、教えて頂きますようお願いいたします。

今後、地元選出の荒川洋平さんと共に関上の為に頑張りたいと思います。

〔抱負〕

動く議員になり、より良く市民の声を聞き行動します。

地域の声、思いをひとつにして、明日に夢が持てる名取のために頑張りますので、あたたかいご声援をお願い致します。

荒川洋平 (30)



〔当選要因〕

両親の力が大きかったと痛感しています。上位当選者3名は比較的若いので若い力への期待票だと感じています。

〔名取市の復興について〕

若い世代が戻れる名取をつくりまします。産業特区認定を目指し、地域産業整備・企業誘致に力を入れ新規雇用を創出します。

〔まちづくり〕

現地再建は賛成ですが、自分の足を使って住民の皆さんと意見交換をし、可能な限り意見を取り入れたいと考えています。現地再建を基本とし、出来るだけ西側に居住区を設け、保護者の皆さまの気持ちを反映させた安全・安心な学校建設を目指します。

〔抱負〕

予想をはるかに超えた票に驚いていますが、プレッシャーに感じることもなく名取市民のためにしっかりと働きます。議員の立場で関上・名取に貢献できることを一つずつ確実に実行していきたいです。

ブログ▼「名取市関上復興支援のブログ」〔関上〕で検索してみてください  
<http://blog.livedoor.jp/coolssportsphoto>

ツイッター▼@nopppo190  
フェイスブック▼  
[http://www.facebook.com/arakawa\\_youhei190](http://www.facebook.com/arakawa_youhei190)

## 関小・関中の今、これから…

関小・関中は震災により校舎が使えません。現在は、不二が丘小学校の空き教室をお借りして、関上小中学校共に勉強に励んでいます。

関上中学校は仮設校舎の建設が決定しました。建設場所は、十三塚公園にある野球場の駐車場。プレハブ工法で校舎と屋内体育館、校庭が整備されます。夏休み中に学校の引っ越しを行い、来年度の2学期より使用予定です。

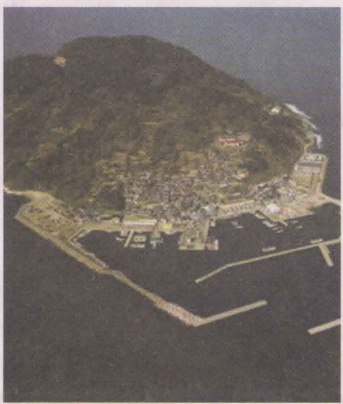
## 3年で復興を遂げた玄界島へ

昨年8月17日、19日、7歳から60歳までの関上住民11名とNPO法人ロシナンテスのスタッフ2名計13名で、福岡市の玄界島を訪れた。玄界島は平成17年3月20日に発生した福岡県西方沖地震により壊滅的な被害を受けたが、約3年で復興を遂げた。

どうしてそのような早い期間で復興を遂げることが出来たのか。実際に目で見て感じ、復興について学び、関上の復興に活かそうと視察が行われた。

〔視察へ行った工藤博康さんの話〕

町の規模や被害の状況は異なりますが、復興を目指す点では同じです。玄界島が早く復興できた最大の理由は、島民の意見をスピーディーにまとめるため、震災直後から島民による話し合いを数十回重ねたことです。島民の中から、島民の代表を選挙で選び、代表者が話し合いを進めました。



関上小学校は相当期間不二が丘小学校を使用します。中学校が仮設校舎へ移動した後、不二が丘小学校と協議しながら教室を再配置します。今まで中学生が使用していた教室も使用し、現在よりゆとりある教育環境に改善されます。

関上小学校、中学校は存続されるでしょうが、再建の場所や、時期は重要な課題なので、今後大いに関心を持ち、見守っていきましょう。

代表者だけでは決められない重要な議題は、全島集会を開き、約700人の全島民で議論したそうです。

民主的に決めた住民の要望を行政に提出し、行政と話し合い協力しながら早期復興を実現させました。

関上の復興は、住民の意見を反映させるための仕組みが充分ではありません。現在、関上の復興がどのくらい進んでいるのかわからない人もいます。住民ひとりひとりの意見をひとつにまとめて、まちづくりに反映させることが、本当の早期復興につながるのではないかと、玄界島の視察を通して思いました。



## 成人式を迎えて

今までの20年、

そして輝く未来へ

2012年、名取市内で成人式が行われた。式典には640人が参加。ひとつの節目を迎えた新成人たちに「20才の私がいま伝えたいこと」というテーマでインタビューした。

◆小野真未さん (館腰)

成人式を迎えていかがですか？

今までの20年間、家族や友達がいちからこまで来られたという感謝の気持ちを改めて感じました。特に震災が起きてからは、当たり前のことや日常がとて大変だと思ふようになりました。そのような感謝の気持ちも言葉にしないと伝わらないので、ちゃんと伝えたいと思います。いつ言えなくなってしまうか分からないです。

将来の夢は？

4月から北海道の大学に編入し、デザインの勉強を続けます。まちづくりや都市計画、そして広報活動などを研究します。大学卒業後は、地元に戻って、システムや仕組みを作る仕事に携わりたいと思っています。

地元に戻って働きたいですか？

はい。デザイン系の仕事は東京のほうが多く、地方では少ないのですが、やはり大好きな地元で働きたい。地元が好きなのは人が好きだから、この土地も好きなんだと思います。だから、名取市や宮城県のために働きたいと思っています。

新成人を迎えた皆さんに伝えたいメッセージを

今回の震災を名取市で経験した人達には、ぜひ地元に残って伝えてほしい。復興は大変だと思うけれど、みんな力を合わせて頑張っていきたい。もし他の土地に住んだとしても、いつも地元

のことを思って応援してもらいたいです。

4月からは大学に進学するため、初めて名取を離れることになる。違う土地から名取市を見ることで、新たな発見もあるかもしれない。北海道の地で多くを学び、成長した小野さんに期待したい。

◆赤間さやかさん (関上)

成人式を迎えた今の心境は？

すっかりしなやかと思います。将来の夢を実現に近づけていきたいです。

将来の夢は？

今は大学で保健師になるための勉強をしています。地域に寄り添える保健師になりたいです。

震災直後と現在、心境の変化は？

直後は絶望的だった。生きていく意味があるのかわからなかったです。今は、普通の暮らしに戻りつつある。楽しみもあつて充実しています。

名取市の復興計画についてどう思う？

ちょっと危ないのでは…と感じています。このままだったら戻れない。また怖い思いをしたくないです。

「関上」はその土地を意味する？

それとも人間関係を意味する？

どちらも含めて「関上」だと思います。漁業の町だから、海のそばにあった関上が「関上」だし、今まであった人間関係も「関上」だと思います。

二十歳になり、自分も関上の復興に協力したいと語ったさやかさん。関上の復興に、新たな希望の光が射した。

成人式を終え、ふたりとも将来に向けてしっかりと歩み始めています。記者はとても頼もしく感じました。未来の名取を背負う若い世代に、良いバトンタッチができるよう、私たち昔の新人がしっかりとやらなければと気が引き締まる思いでした。



### みんなの心の拠り所 関上湊神社・富主姫神社

昨年6月、関上湊神社・富主姫神社が再建された。「関上の復興には住民の心の拠りどころが必要だ」という神社関係者と住民の思いから支援団体の協力を得て実現した。

再建後は、10月に関上湊神社例祭(復興祭)、元旦には元旦祭が催された。

元旦祭は午前6時半からとり行われた。日和山で初日の出を見ようと住民が集まり、神事が始まるころには日和山は人でいっぱいになった。

曇りの予報だったが、日の出の時間には雲がきれ、日和山の右手から初日の出が昇り、参加者は復興への熱い思いを胸にご来光を拝んだ。

宮司 伊藤英司さん(45)

神社の再建は念願だった。心の拠りどころは絶対に必要です。時間はかかるだろうが、安全で安心な新しい関上の町に、皆で戻ってきてほしいと思います。

宮大工 松浦敏昭さん(60)

鳥居と神籬(ひもろぎ)は、津波に流された流木で造った。鳥居をくぐった人を見たときは本当に嬉しかった。はやく皆で関上に戻りたいですね。

総代 田中政明さん(61)

新年恒例の元旦祭では、地域の皆さんが顔を合わせ、慰霊の祈りと関上の

### 装飾ボランティア「復興への祈り」折り鶴プロジェクト



前号で紹介した「不二が丘小学校の折り鶴、お炊きあげ」の記事を覚えているだろうか。関小・関中の受け入れ先の不二が丘小学校の「装飾ボランティア」の方々の折り鶴プロジェクトの話だ。「関上の子ども達や親御さん達に笑顔になって欲しい、関上の子ども達を歓迎したい」との思いで、自ら千羽鶴を作成するにとどまらず、ブログを通じて日本全国、世界各国から折られた折り鶴や材料や復興への思いを込めたメッセージを集め、校内に飾った。

1月13日「不二が丘小学校装飾ボランティア」関上小中学校保護者「NPO法人ロシナンテス」のあわせて20人程の手によって1つ1つ外された。そして1月14日に行われた多賀神社と館腰神社のどんと祭で、鶴たちがお焚きあげされた。関上小学校、不二が丘小学校の子ども達や保護者が見守る中、鶴は更なる希望に向かって天へ飛び立っていった。

震災直後の大変な中、活動を続けて下さった装飾ボランティアの皆さま、本当にありがとうございます。感謝の思いは言葉では言い尽くせません。皆さまの温かい真心を受け、私たちは復興にむけて勇気を持ち、力強く歩んでまいります。

復興への願いを共有できたのではないのでしょうか。穏やかな年になることを祈っています。



### 施設紹介

#### 森内科クリニック

震災後、4月から若林区にある「春風のころ」の一角で、森内科クリニックを再開された。森先生は関上4丁目、昭和63年の1月から24年間にわたる関上の医療を支えてこられた。

「親子二代の思いを込めてやります」と語り、使命感にあふれた森先生が繁しめるために建てたものです」と森先生はおっしゃる。「今は、エネルギーを蓄える時期。早く関上の方の期待に応えられるようにしたい」とうらやまをはじめ、被災した福祉施設の再開に向け、全力を挙げて計画を進めているそうだ。



仙台市若林区日辺字沖田15 (春風のころ) ☎ 022(290)0323  
アクセス・仙台駅より「今泉神社行き」または「竹野花行き」上飯田西バス停下車 徒歩2分・県道井土長町線 横掘りバス停下車 徒歩5分・今泉ICより車で約3分

支えてくれるものと思われ。

### 関上のお店紹介

変わらぬ笑顔でお待ちしています!



佐々直

昨年4月25日という早い時期に、中田バイパス店で営業を再開された。この日は仙台・東京間の新幹線の再開予定日、これに合わせてお店を再開しようと目標を設定されたそうだ。

現在、訪れた関上の人が店内にあるテーブルを囲んで、お話をしているという光景が見られる。「地元の人の誇りになるものを作りたい」と代表取締役の佐々木直哉さんは語った。

佐々直のかまぼこは、仙台駅や泉区のセルパなどでも販売されており、仙台を訪れた人がお土産用に買い求めていくことも多い。「感謝の笹かまぼこ」が詰められた青い箱のふたを開けると、「100年先の未来へ、その先の希望へ」と題して佐々木さんの熱いメッセージがつけられている。

「関上の方々に支えてもらっている。今後は、製造するかまぼこの種類を上げ、待っているお客さんのためにおいしいものを作りたい。」と語る佐々木さん。「関上に戻らなければならぬ」という強い言葉が耳に残る。

中田バイパス店  
仙台市太白区中田町字清水15-1  
☎ 022(241)2324



かまぼこ工房 ささま

昨年7月1日から名取駅前の「かまぼこ工房」で営業を再開された。震災直後、残っていたかまぼこを避難した方のために提供された。その後ホームページを確認したところ、かまぼこの注文メールや安否を心配するメールが届いていたそうだ。取締役の佐々木靖子さんの「圭子のブログ」が新聞に取り上げられると、全国から応援が届いた。そういった声にこたえるべく、一時は休業することにしたものの、再開の道をさぐることに決めた。

現在は、手焼きのかまぼこが名取駅前の「かまぼこ工房」で製造されている。これまでは工場生産だったため、「まさか手焼きのかまぼこを作ることになるとは、思いませんでした」と佐々木靖子さんはおっしゃる。手焼きのかまぼこはふっくらとしていて、味わいがある。店頭には、福を興すと書いて「福興(ふっこう)」と名付けられたかまぼこが並んでいる。「皆さまに福を興す、会社を再び興す、ゆりあげを興す...そんな思いを込めて...」という言葉が印象的だった。

かまぼこ工房 ささま名取店  
名取市増田3-10-3 ☎ 022(384)8185  
圭子のブログ URL: http://www.sasakei.co.jp

### 読者の声

70代 女性

関上復興だよりに元気をいただいた。関上を離れ近所の人達とは挨拶程度の付き合い。この紙面に関上がある。久々に関上を感じた。40代の息子は、復興100人会議は今後いつ開催されるのか?復興までにどれぐらいの時間を要するか?自分の年齢を考えると戻るか、他で再建か迷っている。ゆりあげ復興だよりの情報に期待している。

### 大友さん(関上7丁目)

年末に第2号復興だよりを、西中田の相澤鮮魚店でいただき、関上があったと感じた。今は知らない土地で周りが見えない。顔ぶれが違う、近所付き合いも無い、この新聞で皆の情報得られ、力になります。震災以降、週3回のデイサービスボランティアをし、積極的に外へ出るように努めています。

家庭金物・建築金物・各種カギ・セメント・生コン・ポンプ車・砂利・砂・工具・建築資源  
**金物の(株)ハザマ**  
名取市増田1丁目2番1号  
TEL(022)384-2141(代)  
FAX(022)384-2149

婦人服・学校衣料取扱  
**せとや**  
名取市美田園7丁目1-1 関上さいかい市場  
TEL・FAX 022-784-3037

(有)赤間米穀燃料店  
灯油1缶 1,570円  
どこにでも配達します。  
☎ 090-3980-2528 ☎ 022-384-3451

皆で福を興します!  
手わざ笹かまぼこ 遊里揚  
かまぼこ工房  
名取市増田3丁目10-13  
TEL 022-384-8185 FAX 022-384-2169  
E-mail: shop@sasakei.co.jp  
URL: http://www.sasakei.co.jp/

もっと笑顔のためにできること  
いつも胸に。  
**森内科クリニック**  
TEL 022-290-0323  
介護老人保健施設 **春風のころ**  
TEL 022-781-3830  
仙台市若林区日辺字沖田15  
特別養護老人ホーム グループホーム ケアハウス **うらやす**  
デイサービスセンター **とさあ**  
在宅介護支援センター **ちとせ**  
特別養護老人ホーム **春の森から**  
TEL 022-304-2750  
施設共通 仙台市太白区東郡山2-34-5



### 閉上わかば幼稚園

#### 菊池富紀子園長先生より

復興の新しい年が明けました。わかば幼稚園も美田園の「閉上さいかい市場」2階に事務所をお借りする事ができました。地元の方々と一緒に閉上復興のため頑張っていきたいと思っています。

復興支援カレンダーもお陰様で県外の方々からも連絡を頂きまして増刷しております。本当にありがたく感謝の気持ちで一杯です。まだ受け付けておりますので、ご購入頂ける方はご連絡下さい。

まだまだ寒さが続きますが、皆さん健康に気をつけていきましょう。もうすぐ

### 「閉上さいかい市場」オープン

2月4日(土)、美田園7丁目1・1に閉上さいかい市場(名取市復興仮設店舗)がオープンする。

すでに営業を始めている店舗もあるが、全店舗日は2月4日、9時40分からオープンセレモニーが行われる。4日(土)・5日(日)の両日、10時から15時まで抽選会、10時30分から試食会が催される。どちらもなくなり次第終了とのこと。

#### すでにオープンしているお店を

##### ご紹介します

##### ■(株)マルタ水産

震災から1ヶ月後に息子さんと2人で半年間、しらす加工を学びに静岡に行かれたという代表の相澤信幸さん。お客さんからの「いつからはじめるとの後悔もあり、一日でも早く店舗

ぐ節分です。「鬼は外、福は閉上」事務所/閉上さいかい市場(名取市美田園7・1・1) ☎090(62221)0804(菊池まで カレンダーのお問い合わせはこちらまで)

#### 子どもミュージカル

#### 「2011名取子どもミュージカル」

名取子どもミュージカルの活動は3年目となりますが、震災の影響で今年の活動はやるべきか中止すべきか、実行委員の間でも結論が出せませんでした。

そんな中、子供達の笑顔を一人でも多くの方に届け、復興の架け橋にしたい

をオープンしたい思いから、開店準備の打ち合わせのために、静岡と名取を行き来することもあったそうです。

1月7日にオープンしましたが、今までの主力商品であるカレーの一夜干しと赤貝の塩漬の他に、震災以降、相澤さん親子を支えてくれた知人の方の商品も取り扱っていくそうで、こんにゃく・佃煮・利尻昆布・函館牛乳・水耕栽培野菜の販売も行っています。

#### みなさん、一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

☎022(3883)3261

##### ■ヘアサロンオバタ

ハサミ等の道具が津波で使用できなくなり、ハサミをスパナに持ち替えてアル

という思いを胸に、名取市内と近隣の小学生115名が本公演を目標に名取市文化会館を中心に練習に励んでいます。プロの演技指導で子供達のダンス、演技は日々レベルアップしていて、私たち実行委員も練習についていくのに精一杯です。

#### 公演は、3月17日(土)・18日(日)

の両日、名取市文化会館大ホールで予定しています。子ども達の笑顔は周囲を元気にさせる力があります。観てくださった方々にも笑顔を届けられる様がんばりますので、ぜひ観に来て下さい!

(広報担当・針生まき子)

たかはし葬儀社(セラホール名取)より、協力をお願いします。

#### 3月11日の津波被害により、たかはし葬儀社の会員制度「ふれ愛メイト」の会員データが流失しました。その為、会員名簿を作り直します。平成23年3月11日までに入会した会員の皆様、たかはし葬儀社まで連絡をお願いします。

再登録の費用は一切かかりません。なお、再登録の期限は平成24年3月31日までとさせていただきます。それ以降は、会員カード、申込み書控えが無い場合は新規扱いになります。



バイトを行っていたという丸子和士さん。震災から3ヶ月後、理容組合や三重県のボランティアの支援により、ハサミや簡易シャンプーの準備が整い、週末は仮設住宅内と出張で理容業を行っていた。今回の仮設店舗の準備にあたり、地元

床や壁張り、シャンプー台の設置を行い、オープンにこぎつけた。店内は手作り感があり、復活に対する意気込みも感じられる。電話予約での送迎も可能とのこと。移動手段にお困りの方は連絡をしてみてもいかがでしょうか。

☎080(1666)9834

「ゆりあげ港朝市」が1日だけ閉上の地に戻り、復興の第一歩を宣言します。震災から1年を迎える3月11日、犠牲者の魂を鎮め生かされた命に感謝し、新たな歩みを進めるためのイベントです。主催・ゆりあげ港朝市協同組合 場所・閉上日和山付近 閉上中学校 日時・3月11日(日) 交通・シャトルバスを用意 (連絡先) (株)アットシステム 佐宗 ☎022(385)1593

### ナチュラル・ステップ

市民講座in名取 「自然と文化を活かした震災復興」に参加しませんか? スウェーデンにおける持続可能な復興の原則について学び、次世代のための復興計画、まちづくりを考えるワークショップ。

日時・2月19日(日) 10時~17時 会場・名取駅プラザホール 入場料・無料 (先着50名・事前登録が必要です) (連絡先) 東北大学生態適応GCOE 岩淵翼・竹本徳子 ☎022(795)3626

名取エコミュージアム研究会 大橋信彦 ☎090(7066)6014

### 「閉上復興だより」からのお知らせ

①間違いのお詫び 2号紙面で内容に間違いがあり、関係者の方、読者の方にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後は誤字脱字のないよう努めて参りますので、温かい目で見守って頂けます様よろしくお願い申し上げます。

②郵送希望の方へ 「閉上復興だより」の郵送を希望される方は、下の連絡先まで、電話またはメールでお申し込みください。

③配布場所の募集 「閉上復興だより」を置かせて頂ける場所を募集しています。人が多く集まる場所に置くことで、一人でも多くの方に読んで頂き、閉上の復興に関心を持っていただきたいと思います。ご協力頂ける方は、下の連絡先までご連絡ください。

④サポーター募集 「閉上復興だより」の発行は皆様からの広告掲載料や、個人・企業サポーターの方からの寄付で賄っています。皆様のご協力をお待ちしています。下記連絡先まで。

⑤ご意見・ご要望の募集 より良い紙面を皆様にお届けするため、ご意見やご要望をお寄せください。ご感想もお待ちしております。

■各お申し込み・お問い合わせはこちらまで ☎:090-3583-1359 編集長・格井メール:yuriage.fd@gmail.com

個人サポーターの皆さま 天台宗僧侶 小齋正祥(寿男)様 (閉上3-9-6) 佐々木静一様 片平秀樹様 田中政明様 南部陽向様 南部春陽様 引地堅治様 久保田紀子様 他2名

花上 小生花店 Yuriage Flower 〒981-1217 名取市美田園7丁目1-1 TEL:022-398-3508 FAX:022-398-3507

ヘアサロン OBATA お電話をいただければ送迎致します。 TEL 080(1666)9834 名取市美田園7丁目1-1

名取 一夜干 真の味。閉上 名取 有限会社マルタ水産 [仮設店舗] 名取市美田園7丁目1-1 ☎(022)383-3261

株式会社 セラホール名取 たかはし葬儀社 ☎022-748-4511 〒981-1225 名取市飯野坂字南沖33-1 fs-takahashi.com

活の心 閉上 津波ヤ あすと長町店 仙台市太白区あすと長町1丁目4-30 タカミヤスポーツパーク内 S306 TEL022-748-4115 FAX748-4125 11:30~14:30 17:00~23:00 仙台エスパル店 仙台市中央1丁目1-1 仙台エスパルB1 TEL 022-266-6651 FAX266-6652 11:00~23:00

うたで応援しよう Sing for Smile プロジェクト 東北第一興商は「閉上復興だより」を応援します! 株式会社 東北第一興商 仙台支店 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-14-6 TEL022(211)4111 FAX022(211)4118 とれたての豊かな風味そのままに... 佐々直の巻かまぼこ 中田パイパス店 太白区中田町字清水15-1 ☎241-2324 ●エスパル店 ●セルバ店 ●仙台三越店 ●仙台駅2階売店

2号発行後、河北新報、読売新聞に「閉上復興だより」を紹介され、私たちの元に電話やメールが殺到し、皆さん一様に閉上の情報が欲しい、中には泣きながら電話をくれた方、地元のお店の情報を知りたい、その家族は今どうしている等々、様々な問い合わせがありました。皆さんの思いは私たちと同じく里閉上を忘れない、閉上の人達のいまを知りたい、復興への道のりなどの声が多く、皆さんの激励のお言葉をいただきました。今号発行は、皆様の心温まる声援に後押しされ、実行委員各自が精力的に取材できました。誠にありがとうございました。県内、関東、関西、遠くは沖縄県石垣市からも熱い声援をいただきました。私たちは少しでも皆様の力になれるよう、毎月発行できるように頑張ります。